

安全確保のポイント(大雪・火山災害)

雪が降り積もった後は、ケガや事故などが起こりやすいので、不要不急の外出は控えましょう。やむを得ず外出するときには、すべりにくい靴や長靴を履く、手袋をする、荷物はリュックなどで背負う、レインスーツなどを着るといった雪の日に適した服装を心がけましょう。



雪の日の屋外での注意ポイント

50歳代から70歳代の方に転倒による負傷が多く発生しています。

また、転倒の際に頭を路面に打ち付けると脳梗塞などが後日(1~2か月後)に発生するおそれがあり、大変危険です。

●車庫（カーポート）

簡易な構造のカーポートは、雪かきがなされていない場合、屋根が崩落するおそれがあります。

●坂道

坂道は上るときよりも下るときの方が危険です。下るときにはすべって転ばないように注意しましょう。

●建物の屋根

軒下は危険です。屋根の雪が落ちてくることや軒先からせり出した氷柱などが直撃することがあります。

●横断歩道

雪が踏み固められてすべりやすくなります。転ばないように注意しましょう。

●車の運転

スタッドレスタイヤの装着およびチェーンの携行または装着をしましょう。

●歩道橋

歩道橋は凍結しやすく雪が溶けにくいいため、すべりやすいので注意しましょう。

火山災害への対策

市域は、富士山や浅間山などで大規模な噴火が起きた場合、火山灰などによる健康被害が生じる可能性があります。マスクをするなどして身を守りましょう。

また、家の中に火山灰が入らないように窓を閉め、洗濯物は外に干さないことや、自動車を運転する場合は、すべりやすくなるのでスリップに注意することも必要です。

